

向陽中だより



第7号

令和3年11月25日

杉並区立向陽中学校

<教育目標> ◎ よく考える人 ○ 思いやりのある人 ○ たくましい人

世の中にあることを自分事として考える ～持続可能な社会の創り手として～

校長 中谷 愛

今年度の本校の学校経営目標の一つに、「持続可能な社会を創る人を育てる学校」があります。この「人」とは、学校に関わっている全ての人という意味で、世代を超えて、学校に関わる人々が共感しながら持続可能な社会を創っていくことを目指しています。世の中には、様々な課題があります。身近なところで見つけた課題を自分事としてとらえながら、解決策を考え、提案していくような行動につなげていってほしいという願いを込めてこのような目標を立てています。

7月の校長講話では、本校生徒に向けて、社会とつながる行動を促進していくことの大切さを提案させてもらいました。そして、それぞれが考えるより良い未来へ向けての思い、アクション、提言を募集しました。先日実施した学校運営協議会のアンケート結果から、持続可能な社会づくりにつながる取組に関心をもつ生徒が増えていることを確認しています。そのような中、夏休みに杉並の文化をあらためて学んだ本校二年生が、海外の方々に向けて、自身が住んでいる地域のよさを英語で発信する取組に挑戦していることを校長室に来て報告してくれました。話を聞いていて印象に残ったのは、「何もしなければなくなってしまうこの地域の文化があるかもしれないことに気付きました。それは守らなければならない。そこで、それに着目して、そのよさをより多くの人に理解してもらうために英語で世界に発信したいと思いました。」という言葉でした。7月に職場体験に参加した二年生が、地域とのかかわりをその体験だけで終わらせることなく、日常生活の中で地域を見つめる視野を広げて行動していると思い、たいへん頼もしく感じました。

また、持続可能な社会づくりに向けて本校の教育活動をより充実させようと、具体的な提案をしてくれた教職員の企画についても紹介します。

<三年生の事例：障害のある方の生活の理解～インクルーシブ社会の実現に向けて～>

「障害のある方の生活を理解する機会をもつことができていないのではないか・・・」「生徒にとって身近な動物である犬が、パラリンピアンの方とペアでスポーツに取り組む姿を見ることは、理解を深めるきっかけになるのでは・・・」そこで、介助犬訓練総合センターの職員の方と交流し、介助犬の仕事についてオンラインで拝見するプログラムを土曜授業で実施しました。三年生からは、介助犬のすることへの感動とともに、もっと介助犬のことを知りたいとの思いから授業後にも質問が寄せられました。そして今後自身が障害のある方と出会ったときの関わり方を考える感想が多くありました。

<一年生の事例：平和・海洋教育の導入～令和5年度修学旅行「鹿児島での学び」に向けて～>

「本校生徒は、約75年も前の戦争によって起きていた当時の状況をあまりよく知らないかもしれない・・・」「本校は地理的に海から離れたところに位置していることから、生徒は海の生き物等を身近に感じる経験があまりないかもしれない・・・」「そこで、本校の教育活動の中に、それらのことを生徒に体験的に学んでもらうプログラムを入れてみるのはどうか・・・」このような話が夏休みに提案されて、現在、総合的な学習の時間にこれらの内容を踏まえた教育プログラムを導入しはじめています。3年間を見据えた教育活動のロードマップの中で、今月の校外学習がキックオフです。

今回紹介した取組の他にも様々なアイデアがあります。学校に関わる全ての人々がそれぞれに、「世の中のことを自分事として考える」ということが、本校生徒がこれから切り拓いていく未来のために大切である、ということをあらためて強く感じています。

生徒の自治活動の高まり

11月には、より良い向陽中学校を目指して、生徒たちが自ら企画・運営する行事が行われました。これらの行事を通じて、生徒たちは自治の力を大きく伸ばしていきました。

教務主任 守屋 彰文

小6体験プログラム 9月から延期になっていた小学6年生の向陽中体験プログラムが11月9日(火)(高井戸三小)と11日(木)(永福小)に実施されました。今年は5校時の授業見学の後、本校生徒会役員による学校紹介と各小学校を卒業した現向陽中1・2年生による中学校生活の体験談が行われました。



学校紹介では、学校生活や部活動の様子を映像を交えて紹介し、小学生は興味深く見入っていました。その後、本校の「いじめ0%5ヶ条」に関する取り組みの紹介から、いじめを無くすために必要なことや小・中学校で行っている取り組みなどについて意見交流を行いました。小学生からは「孤立している人を見かけたら声をかけてあげる」ことや「定期的にいじめに関するアンケートをとる」ことなどの意見が出され、いじめの無い学校をつくっていかうという気運を高めることもできました。

本校生徒による中学校生活の体験談では、部活動での経験を通して学んだことなど、中学校入学後の生活を具体的にイメージできるような話や、小学生のうちに友達とのつながりを深めておくことの大切さなど、6年生の今やっておくべきアドバイスなどがありました。6年生にとって向陽中入学への期待と中学校生活への意欲をもてるようなプログラムとなりました。

後期生徒総会 11月12日(金)、後期生徒総会が体育館で行われました。各委員会からの活動目標からは、「もっとよい学校にしていきたい」という強い思いが込められていました。これからの学校生活を見据えて、より良いものにしていくためにはどうすれば良いかを真剣に考えています。そして、それらの提案に対して、多くの生徒から積極的な質問がありました。活動目標を実現させるために、具体的にどのようにするのかという質問とその回答を通じて、今後の活動の具体的な姿が見えてきました。



後半の全体討議では、「いじめ0%5ヶ条」の実践に向けて6年前から始まり、現在も取り組んでいるひまわりノートの改善点について、全校生徒による討論が行われました。まずは、これまでの成果と課題を各学年の代表生徒が発表しました。それを受けて生徒からは、「教室後方に今日の目標を書くスペースやホワイトボードを用意する」ことや、「日直とひまわりノートを書く当番を分ける」、「いじられて嫌な思いをする人もいることから、いじめ0%5ヶ条自体を見直すべきだ」など、さまざまな意見が出されました。これまで取り組んできたひまわりノートの取り組みを一旦見直し、さらに良くしていくためにはどうすれば良いのかを考える貴重な機会となりました。

生徒会活動は役員や委員だけでなく、生徒一人一人の力によって成り立っています。これからもみなさんと協力し合い、良い学校生活を実現させていきましょう。

令和3年度 杉並区立中学校連合文化祭

本年度の連合文化祭は、11月6日（土）から8日（月）の3日間の期間中に、英語学芸発表会、演劇発表会、書評座談会、美術・技術・家庭科作品展、杉並子どもサイエンス・グランプリ 2021 が開催され、本校生徒がそれぞれの場で活躍しました。その中から、英語学芸発表会と書評座談会における活躍の様子をお伝えします。

英語学芸発表会 11月6日（土） 会場 杉並区勤労福祉会館 ホール 英語科 鈴木 美帆

英語学芸発表会には本校から2名の生徒が出場し、英語スピーチを行いました。2年生の生徒は、“Being Yourself”とのタイトルで、第三者が個性を決めつけてしまう考え方に疑問を投げかけ、自分らしく振舞える社会の実現への願いを表現しました。3年生の生徒は、“Why Not Smile?”とのタイトルで、笑顔が相手との距離を縮め、周りを幸せにさせる素晴らしさを伝えました。

出場者は、スピーチの練習と披露を通して、英語のスピーキングスキルの向上を達成しただけでなく、難しいテーマであっても自己の考えや主張を整理し、他者に気持ちを表現できるようになりました。

書評座談会 11月7日（日） 会場 杉並区勤労福祉会館 ホール 国語科 荒幡 智佳

書評座談会には、本校から6名の生徒が出場し、テーマ図書である『天使のにもつ』について、他校生徒と討論をしました。2年生の生徒がパネリストとして登壇し、本校代表として感想発表を行いました。また全体の討論では、他の5人の生徒も積極的に自分の考えを発表していました。討論後は著者による講評を聞きました。

今回の書評座談会を通して、他校生徒との親睦を深め、学校図書館活動への関心を高めることができました。また向陽中学校の教育目標の一つでもある「考える力」をはぐくむよい機会となりました。



都立高校入試のスピーキングテスト導入に向けて

英語科 菅原 幸弘

現在の2年生が受検する都立高校入試から、英語スピーキングテストを課されることになりました。結果は6段階で評価され、調査書点に加算して利用されます。詳細は今後、英語科の授業において触れていく予定です。

本校では、10月2日（土）に第3学年を対象に英語スピーキングテストのプレテストを実施しました。英語科では、生徒のスピーキング能力の向上を図るため、即興的な英会話能力をみるパフォーマンステストや、プレゼンテーション技術の向上を図るスピーチテスト等を年間に数回設定し、わからないところや内容の工夫について事前に相談し、表現力向上を目指しています。

来年度のスピーキングテストの本格実施に備え、英語科では、さらにスピーキング能力の向上を目指したいと考えています。現在、授業のウォーミングアップとして、習慣的に実施する英会話技術を向上させる新たな取組を計画しています。今後とも本校の英語教育への御理解と御協力をお願いいたします。



結 果

1年生 優勝:A組・全員リレー優勝:C組・大縄跳び優勝:B組・学級対抗リレー優勝:男子A組・女子A組・クラス旗賞:C組
 2年生 優勝:B組・全員リレー優勝:B組・大縄跳び優勝:A組・学級対抗リレー優勝:男子B組・女子B組・クラス旗賞:B組
 3年生 優勝:A組・全員リレー優勝:C組・大縄跳び優勝:B組・学級対抗リレー優勝:男子A組・女子A組・クラス旗賞:C組
 団結優勝(縦わり優勝):A組 保護者の皆様、ご声援ありがとうございました。



土曜授業 11月13日(土)

総合的な学習の時間に、1年生が杉並消防署の方々よりご講義いただき、「地域や学校の一員として災害に備えた安全な町づくり」について、お話や実演を通して学ばせていただきました。

また、3年生は社会福祉法人日本介助犬協会・介助犬総合訓練センター(愛知)の方々よりリモート配信で、介助犬の実践を通して「傷害やトラブルを乗り越えた人々と周囲の支え」について学ばせていただきました。



町ぐるみ体力測定会 11月23日(火)

下高永福青少年育成委員会主催の町ぐるみ交流事業として、「第53回町ぐるみ体力測定会」が本校の校庭で行われました。秋晴れの空の下、322名の地域の方々が家族連れで参加し、本校の中学生ボランティアの誘導で準備運動・玉入れ・羽子板・持久力・立ち幅跳び・片足立ちに挑戦しました。ボランティアの中学生も地域みなさんと和やかに触れ合いながら、よい経験をすることができました。



今後の予定(12月)

- 1日(水) ①カット 冬季三者面談 始(～7日)
- 2日(木) ③④カット 冬季三者面談
- 3日(金) ①②カット 冬季三者面談
- 6日(月) ②③カット 全校朝礼 安全指導
冬季三者面談
- 7日(火) ③④カット 冬季三者面談 終
- 8日(水) ⑤総合的な学習の時間(全校:体育館)
「性自認・性的指向に関する人権について考える」
- 9日(木) ビブリオバトル(昼休み) 3年受験写真撮影
- 10日(金) 3年理科出前授業プラネタリウム
- 11日(土) 土曜ICT公開授業 引き渡し訓練
- 12日(日) 杉並区中学校対抗駅伝大会
- 13日(月) ①カット(先生方の研修会のため)
- 15日(水) 3年入試相談始 2年移動教室保護者説明会
- 17日(金) 一斉委員会
- 20日(月) 生徒会朝礼 学校運営協議会定例会
- 22日(水) 職員会議
- 23日(木) 給食 終 ⑥校内美化活動
- 24日(金) 第2学期終業式【正装】
- 25日(土) 冬季休業日 始(～1月10日)
- 29日(水)～1月3日 学校閉庁日